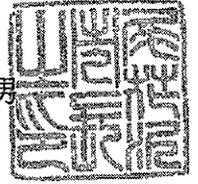


建設第239号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長殿

山形県尾花沢市長 小野紀男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記の件について、
下記により提出いたします。

記

1. 今後の道路行政についての意見・提案
別添のとおり

以上

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

山形県尾花沢市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

①本年5月に、閣議決定された「道路特定財源等に関する基本方針」において、道路特定財源を今年度で廃止し、平成21年度からは一般財源化することとされたが、地方が真に必要としている高規格道路の整備が、着実に推進されるよう必要な財源を確保すること。

また、道路の中期計画の見直しにあたっては、地域間格差の是正や地方の活性化のために、地方の現状と声を十分にくみ取り、反映させていただきたい。

②平成21年度予算については、高規格幹線道路及び地域高規格道路の整備を促進し、高速交通ネットワークの早期形成を図るため、所要の建設予算の確保に努めていただきたい。

○現状

1. 本地域は過疎化や少子高齢化が進展しております。
2. 豪雪地である本地域の道路整備状況は、いまだ不十分な状況であります。

○課題

1. 広域経済圏の形成や広域的な人的交流を図ることが、課題であり、地域内外の道路網整備が、その重要な要素になっております。
2. 雪害に強いまちづくりに向けた道路整備のために、道路整備財源の確保はもちろんのこと、地域では、東北中央自動車道や一般国道13号尾花沢新庄道路の建設促進に大きな期待を抱いております。

②-2 地域の目指すべき将来像

地域間格差が問われている今日、高速道路のネットワーク確立は、均衡ある国土の発展と地域経済の活性化や物流の観点から喫緊の課題であり、切断されている路線を連結し、ハイウェイネットワークを早期に完成させることが、立ち遅れている地方の整備が促進されることを念頭に国家の発展を支える戦略的な施策と位置づけ、最優先かつ早急に取り組んでいただきたい。

また、都市間を結ぶ高速道路、幹線道路から、生活に密着した市町村道路までを一体とした道路と捉え、それぞれの道路の性格を考慮しながら道路の機能を高めるとともに、道路と沿道を一体的に捉えた空間整備事業を補助事業として実施できれば、地域社会の中心市街地等の活性化を図る上で大きな効果が期待される。

さらに、本市のような豪雪地帯の地方自治体においては、日常的な維持補修はもとより、冬期間の除雪、排雪等の道路管理に多額の経費を要し、逼迫する財政状況の中で大きな負担となっており、道路維持管理の充実に十分な対策をお願いしたい。

事業実施における初期投資の抑制と、構造や規格の見直しが上げられますが、事業効果の早期発現や、地方の気象条件などの実態に即した道路建設が必要であると考えます。

山間地域を多く抱える本市は、道路が生活維持のための生命線になっています。経済効果に重点を置いて議論するのではなく、地方における地域特性に配慮した道路整備が重要であります。地域間格差の是正など、生活者重視の視点で、医療、物流など、生活に必要な一定水準の交通サービスの確保を重視して、基幹道路等の整備の効率化を進めるべきと考えます。

山間部・中山間部を抱える地方においては、大規模な地震や災害により、橋の落下や崖崩れなどにより道路が寸断され、孤立する集落の存在が危惧されるため、幹線道路の整備で山地を横断する工事となる場合、掘削切り土等ではなく、トンネル等で対応していただきたい。

また、災害時の危険回避に備え、迂回路線の整備や緊急輸送のための道路等の重点整備が必要と考えます。

さらに、豪雪地帯においては、防雪対策、除雪、排雪体制の充実など、雪に強く安全安心で快適な居住環境を整備充実するための財政措置を講じていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

山形県尾花沢市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他